



Webversion



IDF PRESS RELEASE

IDFプレスリリース

2019年10月21日、ブリュッセル発

国際酪農連盟は会員国としてロシアとケニアを歓迎します

International Dairy Federation welcomes Russia and Kenya to its membership

1903 年以来、科学に基づく酪農乳業の専門知識の主要な世界的情報源である国際酪農連盟（IDF）は、公式の会員国としてロシアとケニアを歓迎し、本連盟内の会員国の総数は 43 に増加しました。

今年、IDF 総会は、ロシアとケニアの二つの新しい会員国を喜んで IDF に迎え入れました。コメントとして、IDF 会長ジュディス・ブライアンス博士は、次のように述べました：

「ロシアとケニアの両方を、IDF 会員国に迎えることができるとても喜ばしいです。今日、世界の酪農乳業セクターが直面している重要な課題について彼らと協力することを楽しみにしています。これらの国々に他のメンバーと一緒にテーブルについてもらうことは、私たちのグローバルな声、知識、専門知識をさらに強化するために非常に重要です。」

ブライアンス博士は次のように付け加えました：「IDF は、この二カ国の新しい会員国をコミュニティに迎え入れることで、世界の酪農乳業セクターにおいて価値ある成長し続ける広がり、野心、影響力をさらに実証しています。」

IDF 会員国として、ケニアとロシアは、世界の酪農乳業セクターを支援して開発することを目的とした酪農専門家のダイナミックなネットワークの一部となること

で恩恵を受けるでしょう。IDF 会員国の活動は、政策に関する対話を促進し、繋がりを構築し、パートナーシップを促進し、能力を構築し、世界中の酪農セクター内で最良の慣行を開発します。

「最近、IDF にロシアとケニアの二カ国が追加されたことで、IDF は世界の生乳供給の 75%以上を占めるに至りました。」と、IDF 事務総長のキャロライン・エモンドは述べました。「グローバルセクターが直面している重要な課題と機会について、新会員と協力することを楽しみにしています。」

IDF ロシア国内委員会はロシア国内乳業連合 Souzmoloko の CEO である Belov Artyom 氏が、IDF ケニア国内委員会はケニア酪農会議 (Kenya Dairy Board) の専務理事 Margaret Kibogy 氏が率いています。このニュースへのコメントとして、Kibogy 氏は次のように述べました。

「ケニア酪農会議を代表して、国際酪農連盟の準会員となることに興奮しています。ケニアの酪農産業は、幅広いステークホルダーに利益をもたらす主要な社会経済活動です。年間 52 億リットルの生乳の大部分を生産する約 150 万人の小規模酪農家は、乳生産で生計を立てており、酪農乳業セクターはこの国の GDP の約 4%を占めます。会員権を通じて、この国は世界規模の討論の場を介した関与と知識共有の恩恵を受けます。また、業界の他のプレーヤーらと一緒に討論の場で議論するために積極的な役割を果たします。」

1903 年以來の全世界の酪農乳業の専門性

2019 年 9 月現在、IDF には 43 カ国に 1,200 人以上の専門家がいます。IDF のグローバルな成長は、世界中の国々が酪農チェーンのすべてのステークホルダーにとって科学のおよび技術的な専門知識の主要な情報源として IDF の重要性と価値を認識しつつあることを示しています

IDF の活動と優先項目に関する詳細は、www.fil-idf.org から入手できます。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。